

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		フリースマイル横浜港南Ⅱ		公表日		年 月 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	2	人員が少ない時間帯については、職員が広範囲を見渡せる場所を意識したり、複数の児童と一緒に遊べるよう声掛けをしている。	送迎の時間帯や、子どもの特性に応じてマンツーマンの対応が必要になる際、その他の人員配置が少なめになることがある。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	1	バリアフリー化は出来ていないが、安全を確保できるよう対応している。また、ルールやその日のスケジュールなどを伝える際、口頭だけでなく視覚的に確認できるようにしている。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	0	次の活動に入る前に、子どもたちと一緒に片付けを行なっている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	0	クールダウンが必要な時など、子どもが希望する場合に別室対応が出来るようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		4	0	常勤の職員だけでなく、非常勤の職員も参加するミーティングの機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4	0	ミーティングだけでなく、面談の機会を設け改善したいことを話し合う機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	1		第三者評価は行っていない。 共通認識が持っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		4	0	1～2ヶ月に一度、常勤・非常勤が参加する職員研修を行っていると同時に、外部研修の情報を共有したり業務に関連するインターネット上の記事を共有することで知識を増やせるようにしている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		4	0	目的に合わせてプログラムを作成し、WEBサイト上で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		3	1	日々様子からの子どもの見立て、保護者の要望などを分析した上で放課後等デイサービス計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		3	1	支援会議や日々の振り返りの中で子どもの見立てを共有し検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		3	1	共有が不足している場合には、ミーティングや日々の関わりの中で意見交換をしながら支援を行なっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		3	1	標準化されたツールは用いていないが、日々の行動観察の記録を残している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		2	2	現在、本人支援が中心となっているが、家族支援や移行支援なども行なえるよう検討し、少しずつ実行している。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	担当者を中心に全体の活動プログラムを立案した上で意見を出し合い、個々のプログラムについても目的や手段等をチームで確認している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	子ども同士の関わりを重視しているため集団活動を中心に放課後等デイサービス計画を作成しているが、必要に応じて個別の活動を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	活動内容の共有事項を文章や写真で分かりやすく端的に共有したり、当日の優先事項・対応者などを確認して支援に当たっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	活動の反省点や、子どもたちの様子など共有し記録に残している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	活動の反省点や、子どもたちの様子など共有し、よりよい支援の方法を検討するようにしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4	0	子どもが納得して活動に取り組めるよう、自分で選択して決定する機会を設けている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	送迎時の口頭でのやりとり、電話、Eメールなど状況に応じて連絡手段も工夫している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	就学前の様子については、保護者からの聞き取りで情報を得ている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4	該当する利用者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	近隣の公園に遊びに行く機会を多く設け、その場で会った子どもたちと遊ぶなどしている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	同法人が運営している近隣の事業所をまとめて、代表者が参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時の口頭でのやりとり、電話、メッセージなど状況に応じた連絡手段を用いて、気になったことや何気ない様子などを共有している。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	現状あまり実施できていないが、外部講師による講演会や個別相談会を行なったことがある。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時にひと通り説明している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	普段の支援の中で子どもの意向を確認したり、保護者に情報共有を行なう中で保護者の意思を確認したりしている。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	事業所での子どもの様子とともに、支援内容を説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	モニタリング・支援計画の機会だけでなく、必要に応じて面談などを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	今年度、初めて保護者・家族参加型のイベントを実施した。来年度も継続していく予定。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	イベント内容のお知らせや月ごとの事業所の様子をお知らせするお便りを配布している他、WEB上に活動概要（各イベントの様子）などをお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	分かりやすい言葉を使って簡潔に伝えたり、視覚的に分かりやすくしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	不安感の強い子どももいるため地域住民を招待するなどはしていないが、庭の畑で採れた作物をおすそ分けしたり日常的な挨拶を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		各マニュアルの策定はしているが、周知が不足しているため改めて周知する方法を工夫していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	保護者からの情報を元に、市販のお菓子や提供する食材のアレルギー表示を確認して提供している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		周知が不足しているため改めて周知する方法を工夫していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	3		拘束が必要になる可能性がある対象児童が少なく、明記していない。	